

- カメラは、アナログカメラ（52万画素未満）・AHDカメラ（130万画素以上）からHD-SDIカメラ（223万画素以上）の普及が進んでおり、その高機能化から利用する動きが顕著になっている。
 - ナンバープレートの確認や、人の顔の確認もできるようになった。
 - テラバイト級の長期保存ができるようになった。

カメラ用途	個人情報保護法の扱い	方法	目的例
観測	目的を通知・公表しなくてはならない。	人流を把握する。	混雑による迂回路等の提示のため、発災時の誘導のためなど。
		動きを把握する。	廃棄ロスをなくすため。
防犯	例外として通知・公表は不要	店内を監視する。	事件等が発生した場合の証拠として利用するため。
認証 (本人確認等)	目的を通知・公表しなくてはならない	個人情報と突合せ、入退室、出退勤を管理する。	セキュリティ管理、労務管理のため。
	目的を通知・公表しなくてはならない	顧客情報と突合せ、優良顧客であることを確認する。（顧客分析）	顧客満足度向上のため。
		過去の画像と突合せ、同一であることを確認する（リピーター分析）	
		過去の画像と突合せし、同一であることを検知する。	窃盗犯などの来店判断